



東通村と都市部との交流事業 2018 ～ 東通村のわらしを訪ねる会 ～



7月27日(金)から7月29日(日)にかけて、東通★東風塾(山崎孝悦 塾長)が主催する“東通村と都市部との交流事業2018「東通村のわらしを訪ねる会」”が開催されました。

これは、東京都北区立浮間小学校の5年生が、東通小学校5年生を訪ね、3日間ホームステイしながら電気の生産地である東通村での生活や、東通村が誇る第1次産業を体験する事業です。交流開始15年となる今年は、過去最多となる17名の浮間小の“わらし”達が来村し、6月の交流事業以来、およそ2カ月ぶりの再会を果たしました。

越善村長から入村証を交付された浮間小学校のわらし達は、東通小学校のわらし達の学年行事などで相互理解と交流を深めたり、また、ホームステイ先家族とは、交流10年を記念して村が浮間小学校へ寄贈した寒立馬の「結馬ちゃん」に会いに行ったりしました。期間中は、農園でのブルーベリー摘み取りや津軽海峡でのカゴ漁など、東通村の自然や第1次産業を体験するプログラムも行われました。

この交流事業では、これまで170人を超える浮間小学校のわらし達が入村証を受け取ってきました。当時のわらし達は大学生や社会人になり、成長してからも東通村での体験が忘れられないそうです。わらし達が植えたブルーベリーのように、この交流事業から生まれた芽が大きく育ち、たくさんの実を結ぶことが期待されます。



越善村長が入村証を交付



初めての方言はちゃんと伝わるかな？



ブルーベリーの植え方を直接指導



生きているカニに興味津々